

原子燃料サイクル事業の現在の状況について

1. 共通事項

(1) 事業者対応方針に基づく改善活動の現場確認状況

平成 29 年度第 2 回保安検査等で確認された「再処理施設 非常用電源建屋非常用ディーゼル発電機 B 補機室への雨水浸入事象」などの問題に対し、平成 29 年 9 月 6 日の原子力規制委員会において指摘を受けた。

この問題を最優先課題として受け止め「事業者対応方針」を策定し、全社を挙げて改善活動を進めている。

なお、「事業者対応方針」の中の各事業部で実施している現場確認(全設備の把握及び健全性確認)の進捗については以下のとおり。

a. 再処理工場

(a) 安全上重要な設備を含む部屋・エリアについては、平成 30 年 1 月 25 日に屋内(782 部屋)の確認を完了、平成 29 年 11 月 28 日に屋外(77 エリア)の確認を完了。

(b) 安全上重要な設備以外の部屋・エリアについては、平成 30 年 2 月 7 日に屋内(3016 部屋)の確認を完了、平成 30 年 6 月 15 日に屋外(1058 エリア)の確認を完了。

b. ウラン濃縮工場

(a) ウラン濃縮工場は、平成 30 年 1 月 31 日に屋内(143 エリア)の確認を完了、平成 30 年 4 月 20 日に屋外(36 エリア)の確認を完了。

c. 埋設施設

(a) 埋設施設は、平成 30 年 1 月 29 日に屋内(93 エリア)の確認を完了、平成 30 年 4 月 19 日に屋外(650 エリア)の確認を完了。

これまでの現場確認の結果、安全上重要な設備の機能に影響を及ぼすような不具合はなく、設備の健全性は確保されていることを確認している。

2. ウラン濃縮事業

(1) 運転状況

生産運転停止中

(2) 製品ウランの輸送(出荷)終了について

平成 30 年 5 月 24 日に製品ウランの輸送(出荷)が終了。

出荷数量:九州電力(株)の製品ウラン、約 4 トン UF₆(30B シリンダ 2 本)

出荷先:三菱原子燃料(株)

3. 低レベル放射性廃棄物埋設事業

(1) 低レベル放射性廃棄物埋設センターへの廃棄体受入れ状況

受入れ日	搬出側施設名	数量
平成 30 年 6 月 11 日～ 6 月 13 日	関西電力(株) 高浜発電所	1,520 本 (1 号埋設、2 号埋設)
平成 30 年 6 月 26 日	九州電力(株) 玄海原子力発電所	480 本 (2 号埋設)
合計	2,000 本	1 号埋設対象廃棄体 40 本 2 号埋設対象廃棄体 1,960 本

(2) 低レベル放射性廃棄物受入れ・埋設実績

		受入れ本数	埋設本数
平成 30 年 4 月から 平成 30 年 7 月末までの実績	1 号埋設設備	40 本	0 本
	2 号埋設設備	1,960 本	2,128 本
平成 30 年 4 月から平成 30 年 7 月末までの合計		2,000 本	2,128 本

(3) 中部電力(株)浜岡原子力発電所からの低レベル放射性廃棄物ドラム缶の塗装の剥がれ等

平成 30 年 3 月 25 日に受け入れた中部電力(株)浜岡原子力発電所の低レベル放射性廃棄物ドラム缶 960 本について、平成 30 年 4 月 23 日、ドラム缶 1 本の底部に塗装の剥がれ及び水滴の付着があることを確認した。その後、同発電所から受け入れた残りのドラム缶について確認を行った結果、更に他 1 本について同様の事象を確認した。

これら 2 本の廃棄体については、詳細調査を行うために、平成 30 年 7 月 2 日、中部電力(株)浜岡原子力発電所へ、当該電力の責任において返送した。

なお、当該ドラム缶の表面汚染測定および底部にみられた水滴の放射能測定を行った結果、検出限界未満であることを確認している。

(4) 六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターに係る新增設等計画書の提出および廃棄物埋設事業変更許可申請書の提出

原子力発電所で発生する低レベル放射性廃棄物(充填固化体)を受け入れている 2 号廃棄物埋設施設が数年以内に満杯となる見込みであることを踏まえ、3 号廃棄物埋設施設の増設等を行うこととし、安全協定に基づき平成 30 年 5 月 15 日、青森県及び六ヶ所村に対し、新增設等計画書を提出し、平成 30 年 7 月 30 日、事前了解を受領した。

同年 8 月 1 日、廃棄物埋設事業変更許可申請書を原子力規制委員会に提出した。

4. 高レベル放射性廃棄物管理事業

(1) 返還ガラス固化体受入れ・管理実績

	受入れ本数	管理本数
平成 30 年 4 月から平成 30 年 7 月末までの実績	0 本	0 本

5. 再処理事業

(1) 工事の進捗状況(平成 30 年 7 月末現在)

再処理施設本体工事進捗率 約 99%

(2)アクティブ試験の進捗率(平成30年7月末現在)

総合進捗率

約96%

(3)使用済燃料受入れ量、再処理量

		受入れ量		再処理量	
平成30年4月から	PWR	0体	0トンU	0体	0トンU
平成30年7月末までの実績	BWR	0体	0トンU	0体	0トンU
平成30年4月から平成30年7月末までの合計		0体	0トンU	0体	0トンU

6. MOX燃料加工事業

(1)工事の進捗状況(平成30年7月末現在)

工事進捗率

約11.8%

7. 未解決のトラブル等一覧

日時	場所	事象概要	原因	対応
H30.2.9	再処理事業所精製 建屋 塔槽類廃ガス処理系	運転中の排風機A系からB系への切り替え作業を実施した際、警報が発報し、B系の故障と判断。	回転数検出器ケーブルの接続コネクタ部の緩みと推測。	・接続コネクタ部の締め直しを行い、健全性を確認済。 ・原因究明を進め再発防止を検討中。

以上

「詳細については、当社ホームページから確認することができます。(https://www.jnfl.co.jp/)」